第５号様式（第７条関係）

会議録

会　議　の　名　称	第４回清須市保健福祉計画策定委員会（障害者部会）
開　催　日　時	平成２４年３月２９日（木） 午後１時３０分～午後２時２０分
開　催　場　所	清須市役所清洲庁舎　２階２０２会議室
議　　題	１　開会 ２　あいさつ ３　議題 議題１　パブリックコメントの実施結果 議題２　障害者基本計画（案）・第３期障害福祉計画（案）の修正について ○ 質疑応答 ４　障害者基本計画（案）・第３期障害福祉計画（案）に関する報告について ５　市長あいさつ ６　閉会
会　議　資　料	会議次第 資料１　パブリックコメント実施結果 資料２　計画（案）修正箇所一覧
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍　聴　人　の　数 （公開した場合）	０人
出　席　委　員	丹羽委員長、小川委員、伊藤委員、渡辺委員、澁谷委員、村瀬委員、山内委員、隅田委員、山口委員
オブザーバー	師勝保健所　谷川健康支援課長

欠　席　委　員	深尾委員、加藤委員
出 席 者 （ 市 ）	加藤市長 大鐘健康福祉部長、酒井健康福祉部次長
事　　務　　局	（社会福祉課） 栗本副主幹、渡邉係長、井上主任主査

会　議　の　経　過

《意見の要旨》

○　開会（午後１時３０分）

●　事務局

定刻になりましたので、只今から、清須市保健福祉計画策定委員会の第４回障害者部会を開催させていただきます。

本日の部会が最終となりますので、加藤市長にも同席していただいております。ごあいさつは、審議の後にいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

初めに、事務局から本日の出席状況を報告させていただきます。

本日は、深尾委員、加藤委員につきましては、所要のため欠席ですのでよろしくお願いいたします。

また、委員の皆様方にあらかじめご了承いただく事項といたしまして、本市では付属機関等の会議の公開に関する要綱を定めており、その中で会議及び会議録は原則公開となっております。本委員会も公開となりますのでよろしくお願いします。

○　委員長あいさつ（省略）

●　事務局

ありがとうございました。それでは、委員長に議長をお願いいたしますので、よろしくお願いします。

○　丹羽委員長

それでは、議事に入りますが、その前に会議録署名委員の指名をしたいと思います。本日の会議の会議録署名の委員は、小川副委員長と山口委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、議事を進めてまいります。本日の協議事項である議題１の障

害者基本計画（案）と第３期障害福祉計画（案）に対するパブリックコメントの結果と議題２の障害者基本計画（案）と第３期障害福祉計画（案）の修正について事務局から説明をお願いします。

●　事務局

資料１及び資料２により説明

○　丹羽委員長

ありがとうございました。ただいまの説明に関しましてご意見、追加等の発言がございましたらよろしくお願いいたします。

○　渡辺委員

障害福祉計画の 24 ページのところ、市内の事業所ということで 24 年度に５箇所と急に増えていくところが気になる点です。市内だけですよね。現在はそんなにないですよね。ありますか。

●　事務局

サービス事業所数ですので、５箇所あります。

○　渡辺委員

分かりました。私としましてはＮＰＯ法人を作って、これからグループホームとかケアホーム等、そういうところへの協力というのも、どういった協力なのかなと非常に疑問に思いながら読んでおりました。何か具体的な協力などはございますか。

●　事務局

国や県の補助がございますので、そういうものに対する適切な情報の提供ということで考えております。補助金額等も県を通じて出てまいりますので、そういった面につきましても適切な情報を提供したいと考えています。

○　丹羽委員長

よろしかったでしょうか。その他の委員さん、いかがでしょうか。

●　小川委員

先ほどの修正箇所という中に入っていないのですが、障害福祉計画の 31 ページの第４章地域生活支援事業の必要量の見込みというところで、（１）、（２）、①など細かく出ておりますが前回のところは詳しく出ておりません

でした。法の改正とかで修正をされたのでしょうか。

●　事務局

②の基幹相談支援センターを追加してあります。県からご意見をいただきまして、ここに追加をさせていただきました。

○　小川委員

それと、32 ページの必要量の見込みという表の①障害者相談支援事業の箇所で４とありますが、社会福祉協議会も入りながら他に３つになっていくのか、すでにあるのか教えていただきたいです。

●　事務局

これは市内のサービス事業所で、サービスを受ける障害者の方に計画を立てていただくのですが、その計画を立てるのに相談事業所ということで手を挙げていただいているところが確かにございます。そこで計画を立てていただくのですが、相談支援につきましては社会福祉協議会に委託してやっていく事業ですので、今後数が増えてたくさんの人の計画を立てていったりすることを考えますと、見込みとしまして 24 年度から 26 年度まで４箇所ということで計画しております。実際、24 年度からは計画の方は３箇所で立てていただけるという話は出ております。

○　丹羽委員長

ありがとうございました。意見もだいたい出尽くしたと思いますので、今まで４回この委員会をやってきまして障害者部会の最後ということで、この計画案に対しまして異議がなければご賛同いただきたいと思います。賛成の方は手を挙げて下さい。

どうもありがとうございました。全員賛成ということで可決とさせていただきます。

続きまして、お忙しい中ご出席いただいております、師勝保健所の谷川さんに講評をお願い致します。

○　谷川オブザーバー

発言の場をいただきましてありがとうございます。計画が滞りなく作成出来るということで、皆さまにご苦労さまと申し上げたいと思います。拝見しておりますとパブリックコメントが３通で 29 件のご意見があったと

いうことだと思いますが、非常に関心の高い方がおみえになるのだなと思いました。前回、概要版を作られるということで案もいただいておりますので、計画が策定されました折には、あらゆる機会を通して市民の方への周知を充分働きかけることが今後の計画の推進にあたって必要なことかと感じております。

それから、昨年の３月の 11 日に東日本大震災がございまして１年経過しましたが、障害者計画の中でも災害時のというところにどうしても目がいってしまいました。こちらの計画でも障害のある方に配慮した防災対策ではという項目が挙げられていたと思いますが、災害時に要援護者の避難支援体制づくりという地域の協力体制強化に向けての施策の展開ということで、ここに挙げられておりますので非常に期待したいと思っております。

地域での支援の組織を構築されて、要援護者の方々の避難行動支援の体制の整備が充実することを強く望みます。施策の展開の中に災害時の自助、共助の理念を推進していくということが取り上げられていました。共助については地域単位での取り組みや、地域づくりがとても大切なことだと思っております。清須市では高齢者の見守りネットワークや、ブロック社協のモデル事業等を実施されておられまして、積極的に地域づくりに取り組んでおられるなと感じているところです。その中に災害の視点も是非組み上げていただきまして、積極的な取り組みを多くの地域へ広げていただけるといいなと強く感じております。災害時の要援護者の支援制度の周知ということもこれからの課題になっていくかと思いますが、これについては個人情報の壁もあるかと思います。申請に出向くことは障害の重い方には難しいところがございますので、本人のご了解を得るような形、これがなかなか難しいかと思いますけれども、支援の情報提供など保健所の方でも担当の方には特にお願いしているんですけれども、登録制度は知っているけれどもなかなか難しいという方もたくさんいらっしゃいます。その辺りのことを踏まえまして、何らかの情報提供が出来るような形で登録に結び付けられるといいなと感じているところです。

○　丹羽委員長

大変貴重なご意見ありがとうございました。そうしましたら、ここで当

部会が４回にあたりましてこの２つの案に関しまして、加藤市長の方へ案として受け渡したいと思います。よろしくお願いします。

●　加藤市長

本日は皆さま方、大変それぞれお忙しい中でございますが委員会を開いていただきました。ただいまは答申を取りまとめていただきまして、委員長さんからいただいたところでございます。

これまで真剣に慎重に審議していただきまして、心より感謝を申し上げる次第でございます。

今、国の方ではいろんな施策が議論されております。特に障害者の関係では、障害者総合支援法が閣議決定をされて審議の過程でございます。障害者を取り巻く状況はめまぐるしく変わっているのが現状で、障害の方々におかれましてはどういう風になるのだろうと不安を抱いている方もいらっしゃるかと思います。市としましては、障害を持つ人も持たない人も全てが自分らしく自立して生きていただけるようにということを基本に、今さまざまな施策に取り組んでいるところでございます。そういう中で、策定委員会におかれましては現状や今後の進め方をご審議いただきまとめていただいたわけですが、これからが大変でして計画を一つ一つ具体的に進めていくということが一番求められていることだと思います。皆さま方に引き続きご助言、ご指導をいただきながら進めていきたいと考えております。

私共の清須市も 11 年前に東海豪雨がございまして、その時は全国から来ていただいて温かい支援をいただきました。やはり、自分たちの出来る範囲で被災者の方に手を差し伸べて力づけていかなければならないと思っております。職員の派遣についても本当はもっと出したいのですが、なかなか職員の方も手狭でして、そんな中で４人手を上げていただき、課や部の関係で組織的に難しいということで１人の方に１年間行っていただくことになりました。一方では、この地域でも地震の三連動というのが叫ばれておりまして、いつ来てもおかしくないということで災害になった場合には、１人でも多くの人が救われるように自らは自らが守るという市民の防災意識、あるいは地域で支え合うという地域の防災力、これを財源と啓発

ということで働きかけているということで、先ほど保健所さんの方からもご指摘がありましたような要援護者につきましても約 1,700 人の方々を台帳に登録出来ました。その中で支援をしていただける方、自分でやっていけるという方もいらっしゃいますし、全く支援をしていくことが出来ない方もいらっしゃるわけで、そういう方を今後いかに地域防災、自主防災の中で、あるいは自治会の方でお世話をしていただけないだろうかということで、現場に行って働きかけているところでございます。

もう一つ、清須市は今年合併しまして、二度合併をしましたが７年目になります。７月７日に合併して７周年になり、そういう意味では舷がいいです。他の自治体では５年、10 年、15 年という節目にお祝いや記念行事をやりますが、我々のところは７年というで、また七夕は川の日ということで災害ということもありまして、７年目になろうということでいろんな事業を展開していくわけです。そういう中でも障害者の方にも参加していただいて、１人１人の繋がりを大切にしたいと考えております。

いろいろと申し上げましたが、これまで何度も協議していただきましてまとめていただきました。厚く感謝を申し上げまして一言ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○　丹羽委員長

ありがとうございました。それでは、今回４回目ということで最終の部会とさせていただきます。委員の皆さんにおきましては、それぞれが色々な立場からご意見、ご協力をいただきまして、重ねてお礼申し上げまして最終とさせていただきます。ありがとうございました。

○　閉会（午後２時２０分）

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためにここに署名する。

署名委員　　小川　禎一　　㊞

署名委員　　山口冨美代　　㊞

会　議　の　結　果	審議に関する事項はなし
問い合わせ先	健康福祉部　社会福祉課 ０５２－４００－２９１１　内線３１２１